



ロータリー：
変化をもたらす

一宮ロータリークラブ
2017-2018年度方針
会長 青山佳裕

「地元地域を知り奉仕活動を広げる」

この度、歴史と伝統ある一宮ロータリークラブ会長をお引き受けすることとなりました。68年を迎え過去の歴代会長、諸先輩が築かれた一宮ロータリークラブを一年間担う責任の重さをヒシヒシと思いながら緊張感でいっぱいです。自分なり精一杯努めてまいります。何卒みなさまのご協力とご理解お願い申し上げます。

本年度のRI会長のイアンH. S. ライズリー氏のテーマは「変化をもたらす」であります。

そして、第2760地区神野重行ガバナーの地区方針は「今日からのロータリーを楽しもう！」

“会員同士の親睦(クラブ奉仕)と、自らの職業向上を目指し地域貢献(職業奉仕)からスタート、世界で良いことを(社会奉仕)が加わり、そして、国際奉仕、青少年奉仕へと奉仕活動が広がりました。我々自らの職業を通じ向上させる基本理念を変えず時代の変化に合わせ、その流れのなかで理念を大切に広げ自らの行動によって活動意義、楽しさを感じ周りを変えていこう。”が方針テーマです。

この方針を基に、一宮ロータリークラブの歴史を継承し更に大きく前進できることに喜びを感じ会員皆様とともに広げ楽しい例会、意義ある活動ができるよう努め。自分自身も身近な地元地域を見直し勉強させていただく所存です。この機会を得られましたことに感謝し積極性を忘れず努めてまいります。何卒よろしくようお願い申し上げます。

本年度の大きな事業計画

① 地区補助金事業 社会奉仕委員会「児童養護施設の子供たちと楽しく」(11月3日)

照光愛育園の子供たちと、レゴランドへ一緒に行き楽しもう。

② 大江川クリーン事業への参加(11月)

③ 「一人一本の植樹」

RI会長イアンH. S. ライズリー氏が地球環境保全のための奉仕活動「ロータリアンが一人一本の植樹」を2018年4月22日の「アースデイ」までに実施を提唱。

会員の皆様方へのお願いばかりですが、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。